

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公表番号】特表2017-538769(P2017-538769A)

【公表日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-050

【出願番号】特願2017-533416(P2017-533416)

【国際特許分類】

| | | |
|--------|---------|-----------|
| C 07 D | 401/14 | (2006.01) |
| A 61 K | 31/4709 | (2006.01) |
| A 61 K | 31/4439 | (2006.01) |
| A 61 P | 3/10 | (2006.01) |
| A 61 P | 5/50 | (2006.01) |
| A 61 P | 43/00 | (2006.01) |
| A 61 P | 13/10 | (2006.01) |
| A 61 P | 9/00 | (2006.01) |
| A 61 P | 9/12 | (2006.01) |
| A 61 P | 25/00 | (2006.01) |
| A 61 P | 25/04 | (2006.01) |
| A 61 P | 25/28 | (2006.01) |
| A 61 P | 9/10 | (2006.01) |
| A 61 P | 15/06 | (2006.01) |
| A 61 P | 7/02 | (2006.01) |
| A 61 P | 9/04 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|--------|---------|-------|
| C 07 D | 401/14 | C S P |
| A 61 K | 31/4709 | |
| A 61 K | 31/4439 | |
| A 61 P | 3/10 | |
| A 61 P | 5/50 | |
| A 61 P | 43/00 | 1 1 2 |
| A 61 P | 13/10 | |
| A 61 P | 9/00 | |
| A 61 P | 9/12 | |
| A 61 P | 25/00 | |
| A 61 P | 25/04 | |
| A 61 P | 25/28 | |
| A 61 P | 9/10 | |
| A 61 P | 15/06 | |
| A 61 P | 7/02 | |
| A 61 P | 9/04 | |

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月7日(2018.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

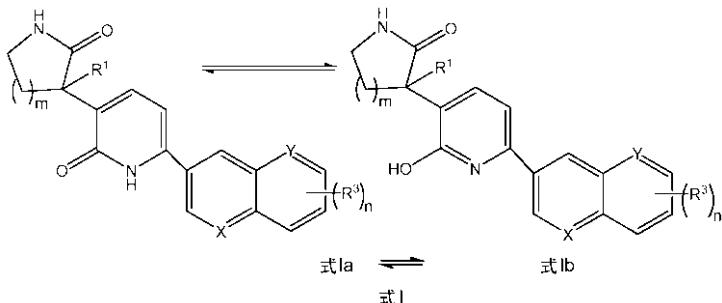
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I の化合物：

【化 1】



[式中、

m は、1 または 2 であり、

n は、0、1、または 2 であり、

X および Y は、窒素または CR² であり、但し、X が窒素であるとき、Y は CR² であり、さらに但し、X が CR² であるとき、Y は窒素であり、R¹ は、H、C₁~₆ アルキル、または C₃~₆ シクロアルキルであり、R² は、H、ハロゲン、C₁~₆ アルキル、または C₃~₆ シクロアルキルであり、アルキルは、3つまでのハロゲンで置換されていてもよく、各 R³ は、独立に、ハロゲン、C₁~₆ アルキル、または C₃~₆ シクロアルキルであり、アルキルは、3つまでのハロゲンで置換されていてもよい] もしくは薬学的に許容できるその塩、または前記化合物もしくはその塩の溶媒和物。

【請求項 2】

m が、1 または 2 であり、

n が、0 であり、

X が、窒素であり、

Y が、CR² であり、R¹ が、H、C₁~₆ アルキル、または C₃~₆ シクロアルキルであり、R² が、F、C₁~₃ アルキル、またはシクロプロピルであり、アルキルは、3つまでのハロゲンで置換されていてもよい、請求項 1 に記載の化合物もしくは薬学的に許容できるその塩、または前記化合物もしくはその塩の溶媒和物。

【請求項 3】

m が、1 または 2 であり、

n が、0 であり、

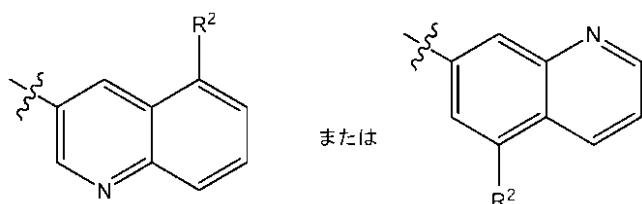
Y が、窒素であり、

X が、CR² であり、R¹ が、H、C₁~₆ アルキル、または C₃~₆ シクロアルキルであり、R² が、F、C₁~₃ アルキル、またはシクロプロピルであり、アルキルは、3つまでのハロゲンで置換されていてもよい、請求項 1 に記載の化合物もしくは薬学的に許容できるその塩、または前記化合物もしくはその塩の溶媒和物。

【請求項 4】

X、Y、および R² が、

【化 3】



となり、

n が、0 であり、

R^2 が、F、Cl、メチル、エチル、 CFH_2 、 CF_2H 、 CF_2CH_3 、 CF_3 、またはシクロプロピルである、請求項1から3のいずれかに記載の化合物もしくは薬学的に許容できるその塩、または前記化合物もしくはその塩の溶媒和物。

【請求項5】

(R)-3-(3-メチル-2-オキソピペリジン-3-イル)-6-(5-メチルキノリン-7-イル)ピリジン-2(1H)-オンもしくは(R)-3-(2-ヒドロキシ-6-(5-メチルキノリン-7-イル)ピリジン-3-イル)-3-メチルピペリジン-2-オンまたは薬学的に許容できるその塩、あるいは前記化合物またはその塩の溶媒和物。

【請求項6】

(R)-6-(5-エチルキノリン-7-イル)-3-(3-メチル-2-オキソピペリジン-3-イル)ピリジン-2(1H)-オンもしくは(R)-3-(6-(5-エチルキノリン-7-イル)-2-ヒドロキシピリジン-3-イル)-3-メチルピペリジン-2-オンまたは薬学的に許容できるその塩、あるいは前記化合物またはその塩の溶媒和物。

【請求項7】

(R)-6-(5-クロロキノリン-7-イル)-3-(3-メチル-2-オキソピペリジン-3-イル)ピリジン-2(1H)-オンもしくは(R)-3-(6-(5-クロロキノリン-7-イル)-2-ヒドロキシピリジン-3-イル)-3-メチルピペリジン-2-オンまたは薬学的に許容できるその塩、あるいは前記化合物またはその塩の溶媒和物。

【請求項8】

(R)-6-(5-シクロプロピルキノリン-7-イル)-3-(3-メチル-2-オキソピペリジン-3-イル)ピリジン-2(1H)-オンもしくは(R)-3-(6-(5-シクロプロピルキノリン-7-イル)-2-ヒドロキシピリジン-3-イル)-3-メチルピペリジン-2-オンまたは薬学的に許容できるその塩、あるいは前記化合物またはその塩の溶媒和物。

【請求項9】

(R)-6-(5-フルオロキノリン-7-イル)-3-(3-メチル-2-オキソピペリジン-3-イル)ピリジン-2(1H)-オンもしくは(R)-3-(6-(5-フルオロキノリン-7-イル)-2-ヒドロキシピリジン-3-イル)-3-メチルピペリジン-2-オンまたは薬学的に許容できるその塩、あるいは前記化合物またはその塩の溶媒和物。

【請求項10】

(R)-3-(3-メチル-2-オキソピロリジン-3-イル)-6-(5-メチルキノリン-3-イル)ピリジン-2(1H)-オンもしくは(R)-3-(2-ヒドロキシ-6-(5-メチルキノリン-3-イル)ピリジン-3-イル)-3-メチルピロリジン-2-オンまたは薬学的に許容できるその塩、あるいは前記化合物またはその塩の溶媒和物。

【請求項11】

(R)-3-(3-メチル-2-オキソピペリジン-3-イル)-6-(5-メチルキノリン-3-イル)ピリジン-2(1H)-オンもしくは(R)-3-(2-ヒドロキシ-6-(5-メチルキノリン-3-イル)ピリジン-3-イル)-3-メチルピペリジン-2-オンまたは薬学的に許容できるその塩、あるいは前記化合物またはその塩の溶媒和物。

【請求項12】

約 9.5、13.7、19.2、20.7、および 25.3 の 2 角(°) 値において特徴的なピークを有する結晶質一水和物である、請求項11に記載の化合物。

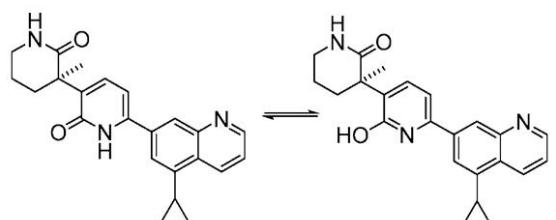
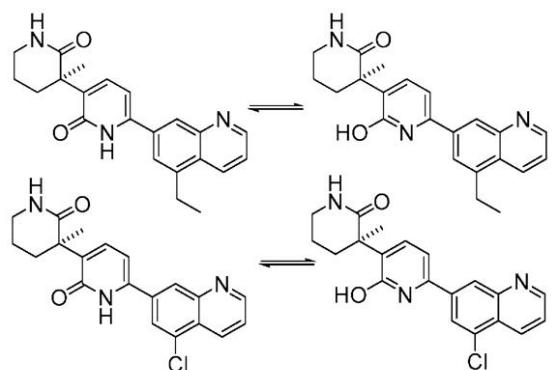
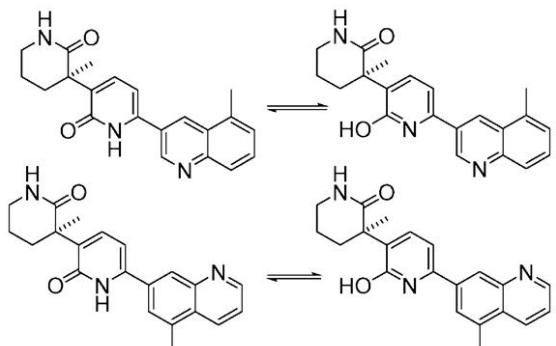
【請求項 13】

約 18.4、20.0、21.1、22.8、および 27.7 の 2 角(°) 値において特徴的なピークを有する結晶質塩酸塩である、請求項 11 に記載の化合物。

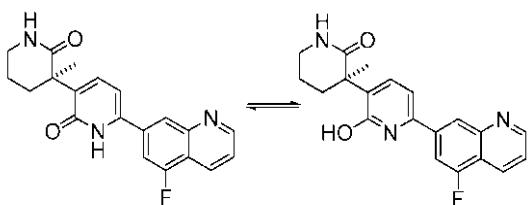
【請求項 14】

次の化合物

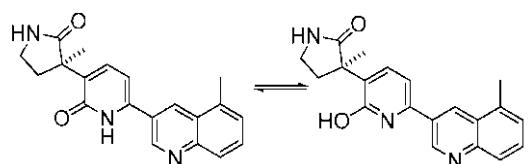
【化 4 - 1】



【化 4 - 2】



もしくは



のいずれか 1 つの化合物または薬学的に許容できるその塩、あるいは前記化合物またはその塩の溶媒和物。

【請求項 15】

請求項 1 から 14 のいずれかに記載の式 I の化合物もしくは薬学的に許容できるその塩または前記化合物もしくはその塩の溶媒和物と、薬学的に許容できる添加剤とを含む医薬

組成物。